

ろうさいニュース



独立行政法人 労働者健康福祉機構
浜松 労 災 病 院

新任紹介

内分泌代謝内科部長 大石 裕子

6月1日付けをもちまして、糖尿病・内分泌科に着任いたしました。

平成3年、浜松医科大学を卒業後、聖路加国際病院で2年間の研修ののち、地元浜松に戻り、大学で糖尿病を専門領域として、多くの先達よりご指導を賜りながら糖尿病疾患の奥深さを教えられました。その後は、浜松市リハビリテーション病院にて老人医療、脳血管障害を主体とした急性期リハ医療にも携わりましたが、改めて動脈硬化疾患の背景に糖尿病が深く関わることを痛感させられました。その後、育児など私的事情から、非常勤医となりました。浜医大にて糖尿病専門外来を担当、貴重な症例を多数受け持たせていただくと同時に、非常勤での透析専門病院では、比較的若年者の透析導入の成因に糖尿病が多々あることに、糖尿病専門医の役割を考えさせられました。

人口の高齢化とともに急増している糖尿病は現代の生活様式では若年者にも身近に迫りつつある疾病として感じます。平成17年度の『日本糖尿病対策推進会議』によれば、40歳以上の4人に一人が糖尿病、人工透析導入年間13,000人以上、失明年間3,500人以上、足病変による切断年間3000人以上、との報告があります。自覚症状のない患者さまへ食欲という本能との闘いを強い、生活習慣の是正を訴えつつ、糖尿病の怖さへの啓蒙と予防に踏み込んだ診療がひいては糖尿病合併症の阻止に繋がるよう、微力ながら精励していきたいと思います。皆様のご指導とご鞭撻を、よろしくごお願い申し上げます。

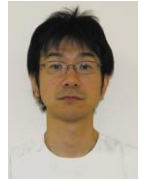


リハ科部長 杉山 宏行

平成10年に産業医科大学を卒業し、同大病院と各地の労災病院で研修し、前任地である岡山県の吉備高原医療リハビリテーションセンターに6年間勤務して本年6月より当院リハビリテーション科に赴任して参りました。

前任地は、リハビリテーション治療で訪れる方の約8割が脊髄疾患、約7割が労働年齢に相当し（平成21年度）、隣接する国立吉備高原職業リハビリテーションセンターなどと連携して行う職業復帰のためのリハビリテーションや、脊髄損傷のリハビリテーション医療を大きな特徴とする150床のリハビリテーション専門病院でした。脊髄疾患の他には、切断、脳血管障害、外傷性脳損傷、神経・筋疾患、骨関節疾患、呼吸・循環器疾患などの患者様の主治医として、入院治療から社会復帰、そして社会生活の維持継続に携わってきました。また、同センター工学部門の協力を得ながら3次元コンピューターグラフィックスを用いた住宅改修支援、座圧測定装置を用いたプレッシャークリニック、頸髄損傷者の在宅就労支援システムなども行ってきました。

まだ不慣れなところが多いですが、これまでの経験も生かしながら当院と浜松近隣の地域医療およびリハビリテーション医療に少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくごお願い致します。



講演会開催のご案内

講演会を下記のとおり開催いたします。多数の参加をお待ちいたします。

メンタルヘルス講演会

- 日時 平成22年7月7日（水）18:00～
- 場所 大会議室
- 演題 「職場のメンタルヘルスと過重労働対策」
- 講師 巽 あさみ 先生
浜松医科大学医学部看護学科教授（地域看護学）
静岡産業保健推進センター産業保健相談員
- 共催 浜松医師会 浜松労働基準協会
静岡産業保健推進センター

第5回医療連携講演会

- 日時 平成22年7月14日（水）19:00～
- 場所 大会議室
- 演題 手における労災後の遺残障害への対処について
- 講師 整形外科部長 河本 正昭
- 共催 浜松医師会
日本医師会生涯教育制度履修単位数 1単位
カリキュラムコード
「57 外傷」・「63 四肢のしびれ」

人事異動

（採用）平成22年7月1日付け

麻酔科部長 木倉 睦人



H18卒
【専門分野】
臨床麻酔学
周術期患者管理
集中治療医学
【資格等】
日本麻酔科学会指導医
日本麻酔科学会専門医
日本集中治療医学会専門医
日本心臓血管麻酔学会専門医

麻酔科医師



佐藤 恒久

H18卒
【専門分野】
臨床麻酔学
周術期患者管理

総合内科医師



小野 正男

S42卒
【専門分野】
総合内科・心療内科
精神神経科
【資格等】
精神衛生鑑定医
精神保健指定医

（退職）平成22年6月30日付け

麻酔科部長 木村 健

麻酔科医師 杉浦弥栄子

暑中お見舞い申し上げます

